

のアルバム

成人おめでとう！！

令和3年野州市成人式を開催し、恩師からのビデオメッセージを大型スクリーンで上映しました。

また、新成人代表の「決意のことば」では、はたちのつどい実行委員会会長の八軒和輝^{はちけんかずき}さんが「今日までたくさんの人に支えられながら過ごすことができた感謝と自分の選んだ道に対する誇りを胸にどんな困難も乗り越えたいと心から思います。そしていつの日か、自分もまた他の誰かにとっての大切な存在となれるような人生を送りたいと思います。これから続く、私たち一人ひとりの人生を自分らしく、強くたくましく生きていくことを誓います。」と日ごろの感謝と自らの誓いを新たにしました。

今年は、コロナ禍での開催となり内容を縮小しましたが、会場では懐かしい友人との再会を喜ぶ姿が見受けられました。

530人の新成人 成人おめでとう！！

▼1月11日 シライシアター野洲



「決意のことば」を述べる
八軒和輝実行委員会会長



総司会を務める
あらきしゅんや
荒木駿弥実行委員会副会長

持続可能な社会をめざして

環境保護団体あちゃはぴは、「自然・人・生き物 地球まるごと Happy に♡」をモットーにエコな暮らしを提案しながら環境保護活動を行っておられます。

毎月のゴミ拾いやエコに関する情報交換会、環境保護イベントの開催など活動は多岐にわたります。

この日は、近江八幡市で活動する団体「まるえこ」と共催し、どうぞの会（リユース物品の無料譲渡会）を開催。

多くの来場者が、まだまだ使用できるお気に入りの物品を楽しく探していました。

▼1月8日 野洲図書館本館



歴史の小窓

—学芸員のメッセージ—

197

歴史民俗博物館 ☎587-4410、Fax587-4413

銅鐸にある穴

野洲市出土の大岩山銅鐸をはじめ大半の銅鐸には形や大きさの違いはあるものの、つり手の穴以外に片面に5カ所、合計10カ所の穴やくぼんだ部分を認めることができます。これらは何のために開いているのでしょうか？

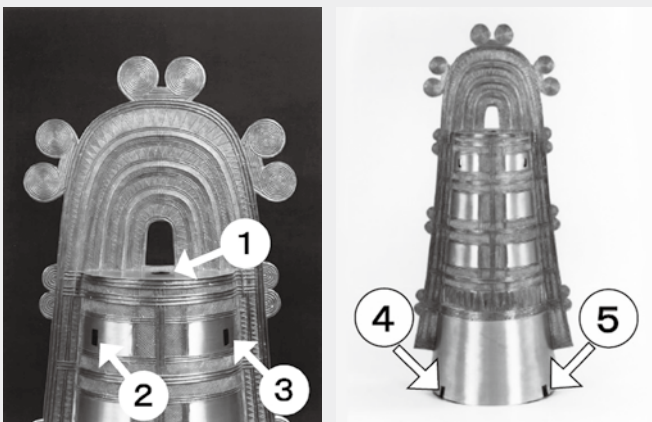
「たい焼き」を注文して出来上がる過程を見ながら待っていた経験がある人もおられると思いますが、分かりやすい例えをすれば、銅鐸とたい焼きの表面のつくり方は同じようなものです。

しかし、銅鐸は振り子をぶら下げ、音を鳴らせるようにしていたこともあり、本体内部は空洞です（たい焼きだと餡子が入っていますね）。この空洞をつくるためには、二つの外型の他に中型が必要になります。外型と中型の隙間（実際の銅鐸の厚み）を均等に保つために設けた支えの部分（接点）には溶かした青銅（銅とスズの合金）が流れないので、できあがった銅鐸には穴ができるのです。

舞（身の上面）にある穴①は、ここに紐状のものを通して振り子をつるすのに役立ちますし、身の上半部に見える穴②・③は、音の響きに関係したかもしれません。そのような機能面を考えながらつくった可能性も否定できませんが、何よりも、これらの穴は銅鐸づくりにおいてどうしてもできてしまうものだったのです。

型から外した銅鐸は、仕上げ段階で裾を切って仕上げるので、裾に見えるくぼみ状の部分④・⑤を残さない選択もあったと思われますが、全体における穴のバランスや当時の美的感覚が盛り込まれたのでしょうか。「あえてくぼみ状に残した」とも考えられるような、興味深い形です。

（博物館学芸員 角 建一）



左：舞・身の上半部にある穴

右：裾にあるくぼみ状の部分
（いずれも大岩山銅鐸復元品）

休館日：月曜日、2月12日（金）・24日（水）

※市民は入館無料

（運転免許証やげんきカードなどをご提示ください。）

※市ホームページ等で事前に関館状況をご確認の上、ご来館ください。



願いを込めてお餅つき

ちゅうず子ども食堂のスタッフ11人が集まり、市内の農家から提供されたもち米（約60kg）で240個のお餅を作りました。

家族と一緒に正月に食べて素敵な新年を迎えて欲しいとの願いが込められたお餅は、12月19日に開催された「食材お渡し会」で配布されました。

当日は約60組の家族が来場。手渡されたお餅を受け取ると「お正月が楽しみ～」と話す子どもたちが印象的でした。

▼12月17日 市民交流センター



紙の力 ～君も未来の建築士～

（公社）滋賀県建築士会青年委員会の皆さんをゲストティーチャーとして迎えたキャリア教育が実施されました。

児童たちはグループに分かれ建築士の皆さんからアドバイスをもらいながら、紙の上により多くの人が乗ることができる構造体を作成。

作品の耐久実験では最大8人が乗ることができ、予想を超えた記録にビックリしていました。

▼12月17日 野洲小学校



▲グッドデザインズ賞を受賞した
「びえんヶ丘 どすこい之助」班